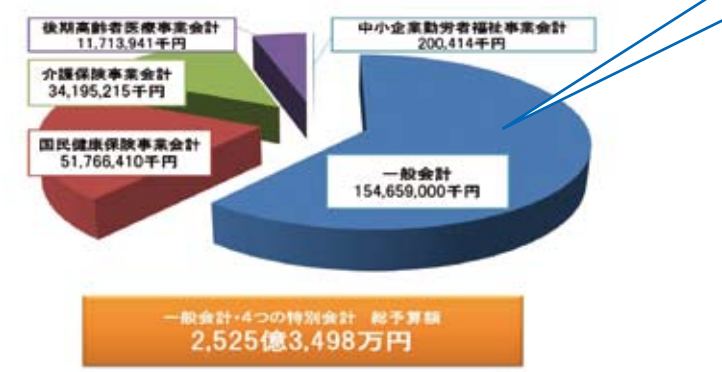


杉並区次の10年へむけて
～新しい基本構想、総合計画、実行計画、24年度予算の概要～

本年第一回区議会定例会において、10年後の杉並区の将来像である「基本構想」（10年ビジョン）、「総合計画」（10年プラン）、「実行計画」（3年プログラム）、そして平成24年度当初予算が、審議を経て可決され、4月から執行を開始しています。

24年度予算
区議会公明党は214項目にわたる
予算要望書のうち、
170項目が（一部を含め）実現しました。

【要望が実現した主な事業】 防災耐震改修の促進（6億6083万円）、木造密集地域の解消対策の推進（1億4400万円）、震災救援所周辺等の不燃化促進事業（1億3030万円）、健康 がん対策の推進（5億4093万円）、子育て・教育（仮称）次世代育成基金の運営（6036万円）、児童虐待対策強化（2619万円）、全ての小中学校に学校司書を配置（9608万円）、高齢社会 介護サービス付き住宅や介護施設の整備（5億1172万円）など。



基本構想審議会

区の予算の使い道一般会計予算を1万円に換算すると				
保健福祉費 5,367円 福祉の充実、健康を守るために	教育費 1,390円 学校教育の充実、生涯学習のために	都市整備費 1,061円 公園整備、道路管理、まちづくりのために	総務費 814円 広報、区民相談のために	
環境清掃費 593円 環境保全、清掃、リサイクルのために	生活経済費 576円 産業振興、消費生活、区民施設、地域活動のために	公債費 113円 特別区債の償還のために	議会費 67円 区議会の運営のために	その他 19円 予備費等のために

がん対策が大きく前進！

杉並区は、この度初めて「（仮称）がん対策推進計画」を策定し、本格的な「がん対策」に取り組みます。がんは国民の死亡要因の第1位です。予防をはじめ、子宮頸がん予防ワクチン接種、がん検診の推進、患者・家族の支援、在宅医療等、総合的ながん対策で命と健康を守ります。

持続可能な財政運営を要望



田中区長に要望書を提出

今議会では、一昨年に制定された「杉並区減税基金」廃止の提案が区側よりありました。
廃止の理由として、「区政を取り巻く社会経済環境の大きな変化」― 3・11を受けて区民の生命・財産を守るための喫緊の防災対策に重きを置くこと、リーマンショック以降の景気の低迷と財政状況が予想以上に厳しいこと等についての説明がありました。
私たち区議会公明党は減税基金の設置には、減税自治体構

想という長期的な視点に立つことで「単年度収支の使い切り予算からの脱却」、「財政のダムを構築し災害などに備える」、「将来に正の遺産を継承する」との3つの理由から賛成しました。今回、区は、減税基金は廃止しても、これら公明党の主張については、①使い切り予算ではなく中長期に持続可能な財政運営を行う、②財政調整基金を活用した「新型ダム」を構築する、③次代を担う子ども・青少年の育成を目的とした「（仮称）次世代育成基金」を創設・拡充する、等の考えを明示しました。
また3月21日には、これらの課題をまとめ、田中区長に対し「持続可能な財政運営のための要望」を行いました。

持続可能な財政運営のための要望

(要旨)

◆「使い切り予算」からの脱却

◆安定した財政運営のための「財政のダム」を構築

◆次世代に「正の遺産」を継承

23 区初 子どもたちの食の安全を守るために
給食食材の放射能測定機器を購入しました(ゲルマニウム半導体検出器)

杉並衛生試験場視察

多くの保護者の皆さまから学校給食材の放射線量を測ってほしいとの要望が私のホームページに届きました。現在、私達の食材は全て国の検査を受け、安全なものが出回っていますが、保護者の不安を何とか解消したいとの思いから区に働きかけて参りました。杉並区では、食材の産地を公表してきましたが、23年度補正

予算でゲルマニウム半導体検出器を1680万円で購入。24年3月より給食食材の測定が始まりました。これまでの測定結果からは、健康に影響を与える数値は検出されていません。詳しくは、横山えみホームページ（一部地域）または、杉並区ホームページをご覧ください。

① まずは、検査室に入る前に検体（食材）の放射能を検査と人体の検査

② そして人体も検査

③ 検査前の食材は冷蔵庫で保管(1検体の測定に2時間かかるため1日3検体が限度)

④ フードプロセッサーで食材を刻む。

⑤ 検査容器に均等に入れる

⑥ ゲルマニウム半導体検出器に入れて3600秒測定します。

子育て応援券 24年4月から新しい子育て応援券がスタートしました。
新生児は、1万円から4万円にアップ！

出生児

無償応援券(1万円分から4万円分に拡大!)有償応援券は廃止

0～2歳

無償応援券(2万円分交付)と有償応援券(2万円分まで購入可)

3～5歳

有償応援券(2万円分まで購入可)

● 小さなお子さまをかかえるママを応援するために、地域とつながるきっかけとなるように、無償応援券の交付範囲を拡大しました。また、サービス内容の見直しが図られました。

● 1冊3000円で1万円分の応援券を2冊まで購入出来ます。

● 平成23年度発行の応援券(5歳児分を除く)について、24年度末まで特例措置を設けています。